

給食生ごみの 肥料使いイモ

豊中で植え付け
67

豊中市の学校給食の生ごみから作られるたい肥「豊肥(とよっぴー)」を使ったジャガイモ作りがこのほど、就学前の幼児と保護者四十人が参加して「緑と食品のリサイクルプラザ」で行われた写真。

たい肥の袋詰め作業などを行っているNPO法人「とよなか市民環境会議アジエンダ21」のメンバーが企画。参加者は一組が五個の種イモを肥料と一緒に植えた。

二歳の娘と参加した吉田あゆみさんは「イモ堀りやイチゴ狩りなど収穫は体験したことがあるが、植え付けは初めて。収穫が楽しみ」と話していた。

今回植えたジャガイモは七月に予定されている「とよっぴー祭り」で収穫する予定。



2005.4.6 産経新聞